

令和4年度第1回 聖籠町経営戦略推進会議 議事要旨

日 時 令和4年7月7日（木）15：00～16：20
場 所 聖籠町役場2階 第2応接室
出席委員 宍戸委員（会長）、五十嵐委員、石田委員、加藤委員、小林委員、佐藤委員、
手嶋委員、三上委員
欠席委員 菅原委員、細野委員
事務局 高松副町長、高橋総合政策課長、小林総合政策課長補佐、今井主任

- 次 第
- 1 開 会
 - 2 委員委嘱
 - 3 町長あいさつ
 - 4 委員及び事務局紹介
 - 5 会長及び代理者選出
 - 6 意見を求める事項について
 - 7 議 事
 - (1) 会議の公開について
 - (2) これまでの行財政改革の取組について
 - (3) 財政状況と人口の推計について
 - (4) 聖籠町経営戦略推進プランの策定について
 - (5) 今後のスケジュールについて
 - 8 事務連絡
 - 9 閉 会

会長及び代理者選出

- 委員の互選により宍戸委員が会長に選任され、会長の指名により石田委員が代理者に定められた。

議事要旨

議事1 会議の公開について

- 事務局から「本会議の今後の審議を公開すべきと考えている」旨を説明。

会 長 意見がないようであれば、事務局提案のとおり、会議は原則的に公開としたい。

ただし、地方議会でも国会でも秘密会というものがあるが、個人情報保護の抵触や議事進行の阻害が懸念される場合は、やむを得ず非公開と

ということになる。そこは、当方で判断させていただく。
(一同異議なし)

議事2 これまでの行財政改革の取組について

○ 事務局から資料1「聖籠町におけるこれまでの行財政改革の取組」に沿って説明。

会 長 これまでの行財政改革に関する継続的な流れも踏まえて、この会議において議論を展開していくことになると思うので、ご認識いただきたい。

議事3 財政状況と人口の推計について

○ 事務局から資料2「聖籠町の財政状況と推計」、資料3「聖籠町の財政指標」、資料4「聖籠町の人口と推計」に沿って説明。

会 長 これまで地方財政に携わってきた立場から資料3を拝見すると、聖籠町の財政指標は、そこまで悪くないと思う。特に、財政力指数は1.00を上回っており、昭和59年度から普通交付税の不交付団体である。

しかし、1.00を若干上回る程度の水準で、交付税を受けることができず、ある意味財政運営が結構大変だと思う。

「財政指標が良い」と言っても、決して楽観はできないというのが、率直な感想である。

事務局 財政力指数は、直近3年間の平均で算出するが、単年度で見ると、昨年度1.04となっていたのが、今年度は1.09まで上がった。

理由としては、子育てシステムの見直しにより、交付税に算入されていた経費が、補助金として受けられるようになったことが大きな要因である。

これも、行財政改革の一つの効果ではないかと思う。

議事4 聖籠町経営戦略推進プランの策定について

○ 事務局から資料5「「聖籠町経営戦略推進プラン」の方向性」、資料6「「聖籠町経営戦略推進プラン」の体系図(案)」に沿って説明。併せて、新たなプランができるまでの間、令和3年度末をもって終了している「聖籠町行財政改革大綱」に準じた取組を継続することを提案。

会 長 この「聖籠町経営戦略推進会議」の目的である経営戦略推進プランの策定、推進、検証の全体像を示してもらった。

委 員 全体的に大き過ぎて、イメージが掴み切れていないところがある。
超高齢化が進み、人口も増えないとなると、これから町が考えていかななくてはならないのは、企業の誘致などで、いかにヒトを呼び込むかである。

現在「あり方検討委員会」で議論されている地場物産館について言え

ば、それを活用して、町がいかに魅力的なまちづくりを進められるかに懸かっていると思う。

今回の会議でも、もっと全体的・総合的に見て、ヒトを増やしたり、カネを入れたりするための事業計画とか、町として何をすべきか考える場として、臨めばよいのか。

会 長 「第5次聖籠町総合計画」という最高位の計画があるが、それと今回策定しようとする「聖籠町経営戦略推進プラン」がどのような関係にあるのか、もう少しイメージが分かるように事務局に説明いただきたい。

委 員 総合計画では、安心・安全や子育てなど色々な部門が分かれているが、それらに今回のプランがどのような形で関わっていくのかイメージが見えない。

町長の話にもあったが、今まで「財源を確保する」と言えば、「削ぎ落としていく」というイメージの方が強かった。町立幼稚園を3園から1園に減らしつつ、保護者にサービスを提供していくことなどは、総合計画の中でも記されていたと思う。

経営戦略と言われても、総合計画とのつながりがよく分からないので、どこに焦点を当てて考えていくのか、教えていただきたい。

総合政策課長 市町村では同様に策定している例がほとんど無い中で、事務局としても模索中のところである。

現段階では、総合計画が一番上にあり、経営戦略推進プランは、これを実現するための基盤となる計画と考えているが、詳細については、これから詰めていく。

例えば、ある自治体では、総合計画の中の子育てにテーマを絞り、その目標に向かって取り組むための戦略という位置づけにしている。

また、総合計画の実施計画で進める部分、経営戦略で進める部分の棲み分けを一つ一つきちんとしながら、最終的に総合計画をより良い形に実現する、という手法もある。

会 長 今の話からイメージすると、総合計画は政策の対象であり、「何をやるか」を示すもの、一方で今回の経営戦略推進プランは政策の手段として、「どのようにやるか」を定めるものであるのではと考える。

総合計画には「持続可能な行財政運営」とあり、それを具体的に示す「政策のやり方」が経営戦略推進プランではないかと思うが、委員の中で共通認識を持つのが大事であるので、意見を頂きたい。

総合政策課長 そのような形でよいと思うが、今後は、様々な事例を研究していきたいと考えている。

会 長 委員からも意見を出していただければ、より焦点を絞り、共通認識を醸成できると思う。

委 員 総合計画の「将来を見据えた持続可能な行財政運営」が、今回の件と

一番関わりが深く、理解しなければならない部分となるのか。

総合政策課長 現状では、そのように考えている。

委員 この部分に書かれていることに対しての手段として、プランを立てていくのがこの会議と考えてよいのか。

会長 そのように私はイメージした。総合計画の「持続可能な行財政運営」を実現するための手段が、今回策定する経営戦略推進プランなのではないかと思った。

委員 次回の会議からは、その手段について、事務局から我々に提案があり、それを議論するということになるのか。

総合政策課長 次回から2回程度は、今まで取り組んできた行財政改革の検証を行う。これにより、経営戦略推進戦略プランの方向性が見えてくるのではないかと考えている。その後、今委員からあったように、事務局から提案をしたいと考えている。

議事5 今後のスケジュールについて

○ 事務局から資料7「聖籠町経営戦略推進プラン」策定スケジュール」に沿って説明。

会長 「プラン策定」とあるが、この主語は町ということでよいか。

事務局 その通り。

会長 先ほどの町長からの依頼書には、「プランの策定について意見を求める」とある。来年2月に町がプランを策定するが、どのようなプランにしていくのか、この会議から意見することとなる。

タイトな日程であり、都合により欠席される委員もいると思う。その時は、FAXでも電子メールでも、何らかの形で意見を伺いたいと思っているので、事務局には配慮をお願いしたい。

次回からは、行財政改革大綱の検証が中心となる。忌憚のない意見を賜りたいので、協力願いたい。